

ラジオ送信施設を活用した「太陽光発電事業」への進出について

2013年3月29日 リリース

株式会社熊本放送（本社：熊本市中央区、代表取締役社長・浅山弘康、略称 RKK）は、環境負荷低減事業への取組の一環として、荒尾市のラジオ送信所に太陽光パネルを設置し、太陽光発電事業に進出することを決定しました。

施設の名称は「RKK ソーラーパーク・荒尾」。ラジオ送信所（荒尾市荒尾）の敷地 14,000 平方メートルの土地を利用しパネルを設置します。投資額は約 3 億円、平成 25 年 4 月に着工、9 月より試験発電、10 月発電開始の予定です。

発電電力は 890kW（年間送出電力約 950MWh）となる見込みです。これは一般家庭に換算すると、約 264 世帯分（※注 1）に相当し、それにより削減される CO2 量は年間 477.8t（※注 2）となります。

発電により得られた電力は「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づき、全量を九州電力株式会社に売電する予定です。

熊本放送はこれまで放送・事業活動を通じて、環境問題に対する意識の普及・啓発に努め、また自らの企業活動においても節電等の努力をおこなってきました。それに加え、今回新たに太陽光発電事業へ参入することで、環境問題への取組をさらに一歩進め、積極的なものへとつなげていく所存です。

なお、ラジオ送信所の敷地利用ということで、放送への影響が生じないように進めて行きますが、万が一、放送への問題が生じ、解決できないような場合は、発電の計画を縮小又は中止する可能性があります。

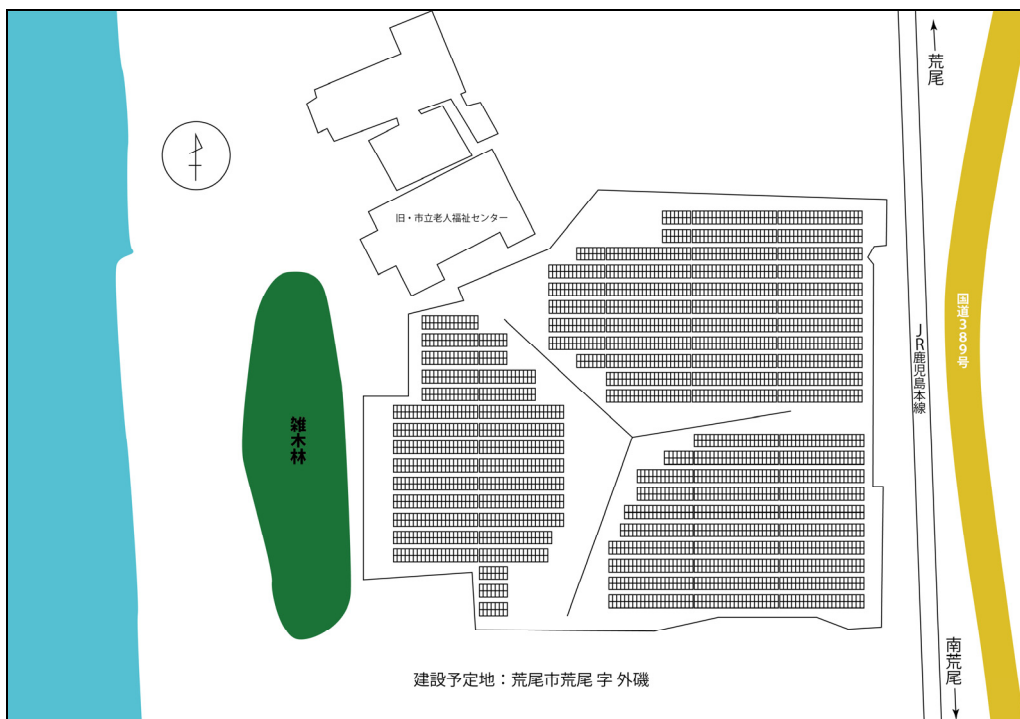
※注 1 1 世帯あたりの年間電力消費量を 3600kWh として算定。

出展：電気事業連合会 HP より

※注 2 排出係数 0.000503t-CO2/kWh（九州電力）で算定

出展：環境省、平成 23 年度「電気事業者別、実排出係数」より

(資料) 完成イメージ



[リリースに関する問合せ先]

株式会社 熊本放送 メディア広報部 TEL096-328-5635